

マレーシア 高等教育基金借款事業(Ⅲ)概要

2011年11月

東南アジア・大洋州部
東南アジア第二課



1. 事業概要

1-1. 背景(1)

- マレーシアの製造業においては、従来の労働集約型の組立・加工産業から、研究・設計・開発分野を強化し、付加価値の高い産業へのシフトが図られているものの、エンジニアの人材不足が問題となっている。
- 同産業が付加価値を高め競争力を強化するためには、これを担う人材、特に科学技術系人材の育成が急務の課題であり、日本留学を通じて技術知識や労働倫理を習得させることにより、高い技術を備えた人材を育成し、マレーシアの産業競争力を強化を行うもの。

1-1. 背景(2)

- 1981年マハティール首相(当時)の提唱したLook East Policy(LEP*)のもと、マレーシアは日本等への留学生派遣を積極的に推進。LEPは2003年に就任したアブドゥラ前首相、2009年に就任したナジブ首相に至るまで基本的に踏襲されている。
- マレーシアは、従来、国内の高等教育機関不足により、高まる高等教育需要に、海外の高等教育機関に依存した留学生送り出しを行ってきた。特にブミプトラ政策により、優秀なマレー系国民に国費による留学の機会を提供。

(1996年以降、私立大学の設置が認められ、国内高等教育機関数が拡充されたため、海外留学生数は減少傾向にある。また、近年では、留学生の受け入れにも積極的であり、Educational Hubとして2012年までに15万人の留学生受け入れを標榜。)

* 日本及び韓国の成功と発展の秘訣が国民の労働倫理、学習・勤労意欲、道徳、経営能力等にあるとして、両国からそうした要素を学び、マレーシアの経済社会の発展と産業基盤の確立に寄与させようとする政策。

1-2. 事業概要

• HELP1~3(+4)

	I	II	III	IV
LA締結	1992年5月	1999年4月	2006年3月	
事業期間	1993年-2004年	1999年-2009年	2005年-2015年	2011年-2020年
プログラム	現地教育 2年 日本留学 4年(1年次編入)	現地教育 2年 日本留学 3年(2年次編入)	現地教育 3年 日本留学 2年(3年次編入)	現地教育 3年 日本留学 2年(3年次編入)
対象	【学部】240人	【学部】400人 【修士】140人	【学部】242人 【修士】66人 【博士】25人	【学部】1600人 【修士】240人 【博士】50人
キャンパス		JMC (Japan Matriculation Center)	UNISEL	KKTM Beranang
留学大学	私立大学 13大学 国立大学 38大学	私立大学 13大学 国立大学 27大学	私立大学 12大学 国立大学 3大学	国立大学数を拡大予定
実施機関	YPM	YPM	YPM	YPM
コンサルタント	日本インドネシア科学技術 フォーラム (JIF)	アジア科学教育経済発展機構 (Asia SEED)	日本国際教育大学連合 (JUCTe)	
事業費	外貨 5,493百万円 内貨 886百万円	外貨 5,484百万円 内貨 706百万円	外貨 7,664百万円 内貨 5,168百万円	上限800百万円リンギット (約21,600百万円) ※外国人留学生のコストは含まれない
実施形態	円借款事業	円借款事業	円借款事業	マレーシア独自事業

*YPM=マラ教育財団

*UNISEL=セランゴール州立大学

*KKTM Beranang=マラ高等技術専門学校 ブラナン校

1-3. 実績

● 新規来日留学生数

		マレーシア													計(人)	
事業名	HELP I ₄ (貸付完了)	HELP II ₄ (全留学生来日済)			HELP III				東方政策 (全留学生来日済)					小計(人)		
	学部	修士	学部	小計(人)	博士	修士	学部	小計(人)	博士	修士	学部	高専	日本語			小計(人)
1991年度															0	0
1992年度															0	0
1993年度															0	0
1994年度															0	0
1995年度	58														0	58
1996年度	76														0	76
1997年度	94														0	94
1998年度	42														0	42
1999年度	40	3		3							272	176	6	454	497	
2000年度		12		12						5	14	86	54		159	171
2001年度		13	52	65						3	15	97	48		163	228
2002年度		12	49	61						3	14	137	57		211	272
2003年度		13	69	82							16	139			155	237
2004年度		1	54	55							8	154			162	217
2005年度		6	56	62												62
2006年度		20		20												20
2007年度					3	11		14								14
2008年度					4	5	75	84								84
2009年度					3	6	86	95								95
累計	310	80	280	360	10	22	161	193	11	67	885	335	6	1,304	2,167	

1-4. 留学のしくみ(1)

マレーシアの教育制度

ツイニングプログラム導入

Age	Grade	Universities (including MJIT)	LEP 1999	HELP1 1992	HELP2 1999	HELP3 2006	
28	3	PhD					
27	2						
26	1	Msc					
25	2						
24	1	University		Univ. in Japan	Univ. in Japan	Univ. in Japan	
23	4						
22	3	STPM	Form 6	予備教育 (AAJ)	予備教育 (JMC)	JAD	
21	2						
20	1	SPM	Matriculation			JAD	
19	U6						
18	L6	Upper Secondary Form 4 & 5					} 2
17	5	Lower Secondary Form 1, 2 & 3					
16	4	Primary School Standard 1-6					} 3
15	3						
14	2						
13	1						
12	6						
11	5						
10	4	Nursery					
9	3						
8	2						
7	1						
6	2						
5	1						

*MJIT=マレーシア日本国際工科院
 *STPM=全国統一試験(大学予科教育終了時)
 *SPM=全国統一試験(上級中等学校終了時)

*AAJ=Anban Asuhan Jepun
 *JMC=Japanese Matriculation Centre
 *JAD=Japan Associate Degree

1-5. 留学の仕組み(2)

• ツイニングプログラム(JAD)

SPM(全国統一試験)
12月

成績順に、マレーシア人事院の面接官によって面接が行われ、統一試験成績と面接結果を総合的に勘案された上で選考される。



	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
Course	Dip. 1	Dip. 2	Dip. 3	University	
Year	Matric.	Uni - Year 1	Uni - Year 2	Uni - Year 3	Uni - Year 4
Location	Malaysia			Japan	
	Diploma >			Degree >	

Diploma of Mechanical Engineering in Technical Japanese
Or
Diploma of Electrical and Electronic Engineering in Technical Japanese

1-6. 編入試験

- 編入学先は、学生が主体的に決定。学生は協力大学の中から、私立、国立を問わず2大学を受験することが可能。HELPⅢでは、編入試験はマレーシアで実施。
- 試験は基本的にはインタビュー形式で行われ、日本語運用能力、工学分野に係る基礎知識が問われる。

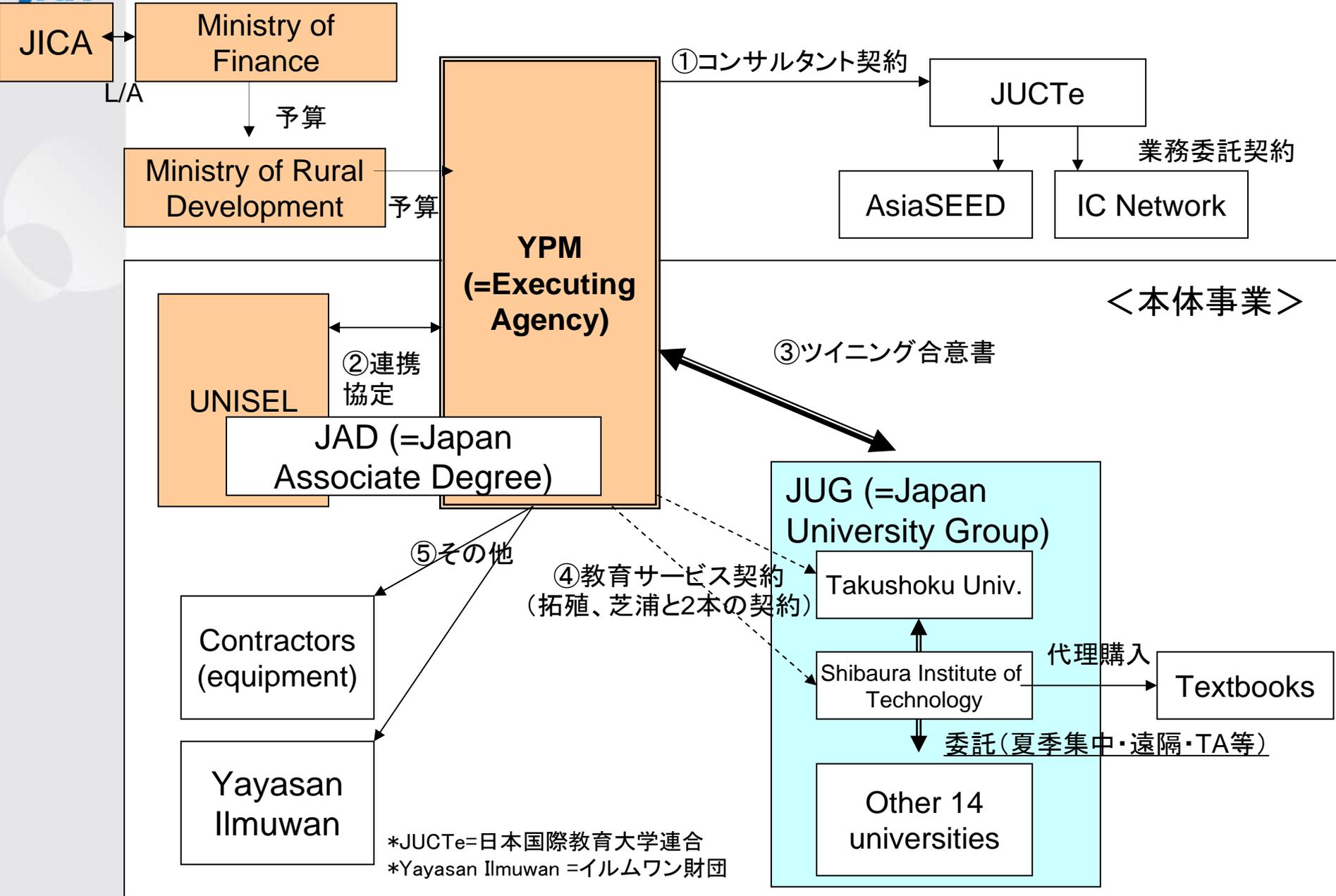
2. 実施体制

2-1.実施体制

- 借入人:マレーシア政府
- 事業実施機関:マラ教育財団(YPM)
- 現地教育:セランゴール州立大学(UNISEL)
- 日本側教育:YPMとツイニング合意書を締結する大学コンソーシアムに参加する本邦大学(国立3大学、私立12大学)



2-2. HELP3実施体制



① JUG (Japanese Univ. Group)参加大学

- **国立大学**

埼玉大学、山口大学、長岡技術科学大学

- **私立大学**

慶應義塾大学、明治大学、岡山理科大学、拓殖大学、東京電機大学、東京工科大学、近畿大学、立命館大学、芝浦工業大学、東海大学、東京理科大学、早稲田大学

② ツイニング合意書 (YPM-JUG)

- カリキュラム・シラバス・スタディプランの提供
- 学生受入・単位移管認定
- 短期・長期の教員派遣、TA派遣、遠隔教育、外部評価、教材・教具の購入などの協力
- 日本人学生のマレーシアでの研修機会の提供
- JAD Management Committee、JUG Steering Committee、Joint Academic Board、HELP3 Senateなどプログラムの推進と品質管理のための各種協議体に協力

③ 連携協定

- YPMとUNISELの間で、UNISELにおける3年間の現地予備教育を終了した学生に対し、Japan Associate Degree (JAD)の授与に係る取り決めをしている。



④ 教育サービス

芝浦工業大学(工学系)、拓殖大学(日本語)

- 長期派遣教育、短期派遣教員、遠隔教育、TA、外部評価者等の派遣とその管理
- 教科書・教材の代理購入、短期派遣教員・遠隔教育などにおける他のメンバー大学と委託契約

2-3. 委員会（原則として、ツイニング合意書で規定）

1. JAD Management Committee

→ YPM、UNISEL、JUCTeで構成し、マレーシアにおけるディプロマ・プログラムに関わる諸事項を協議する。

2. JUG Steering Committee

→ 大学で構成し、日本におけるJADプログラムに関わる諸事項を協議する。

3. Joint Academic Board

→ UNISELによって設置される委員会で、マレーシアにおけるディプロマ・プログラムに係わる事項を協議し、エンドースする。

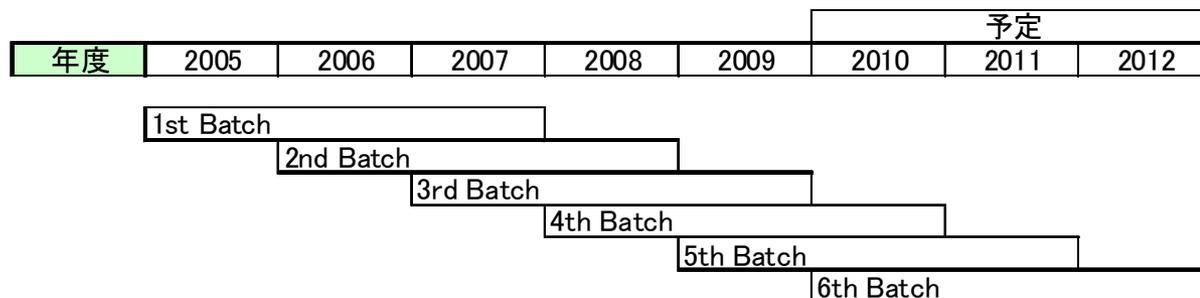
4. HELP3セネート・ミーティング

→ YPMによって設置される委員会。ジョイントJoint Academic Boardの結果を受けて、マレーシアにおけるJADプログラムに係る事項を講義し、エンドースする。

5. シラバス・カリキュラム委員会（※ツイニング合意書には規定無）

2-4. 日本人派遣教員

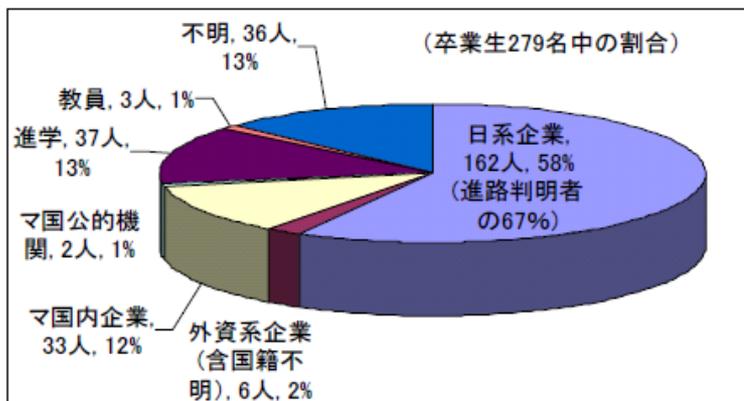
- 教員数



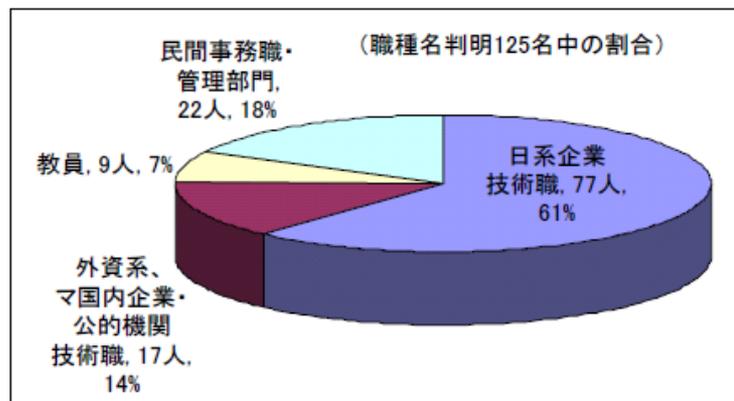
		予定							
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
日本語(フルタイム)	J:	13	14	14	14	14	13	5	2
	M:	1	1	2	2	2	2	1	1
Science/Math Lecturers (フルタイム)	J:	1	4	5	5	5	5	4	1
	M:	2	4	4	3	3	3	3	3
Engineering Lecturers (フルタイム)	J:	1	1	6	6	6	6	6	6
	M:	1	2	2	2	2	2	2	2
Short-term Lecturers (2週間または3週間)	J:	0	4	8	8	9	9	9	5
	M:	0	2	2	2	2	2	2	0
Total	J:	15	23	33	33	34	33	24	14
	M:	4	9	10	9	9	9	8	6

2-5. 卒業生の就職先(HELP1)

- 日本留学中に、マレーシア人留学生を対象とした就職フェアが開催されている。
- HELP1事後評価では、進路判明者の67%が日系企業に就職。



注： 一度でも日系企業に就職した卒業生は日系企業に含めている。
マ国公的機関は教員を除く。
出所：実施機関資料および受益者調査



注： 教員の人数が図2より多いのは、日系企業に就職後教員に転職した卒業生を含めているため(日系企業就職時の職名は不明)。
出所：実施機関資料および受益者調査

2-6. 卒業生のネットワーク

- 卒業生の同窓会組織

JAPEMA (Japan Alumni of Yayasan Pelajaran Mara)

- 本邦大学を卒業時、JICAが激励会を主催